

世界各地の社会的要請に対応可能な日本語教育 大学の国際化とキャンパスにおける言語コミュニケーション

東京大学副学長

グローバル教育センター長

矢口祐人



自己紹介

- 札幌生まれ
- GOSHEN COLLEGE (アメリカインディアナ州) 卒
- COLLEGE OF WILLIAM AND MARY (ヴァージニア州) MA/PHD
- 北海道大学言語文化部 95-98 英語教育系
- 東京大学教養学部 98- 英語部会
- アメリカ研究・アメリカ太平洋地域研究・歴史と記憶研究



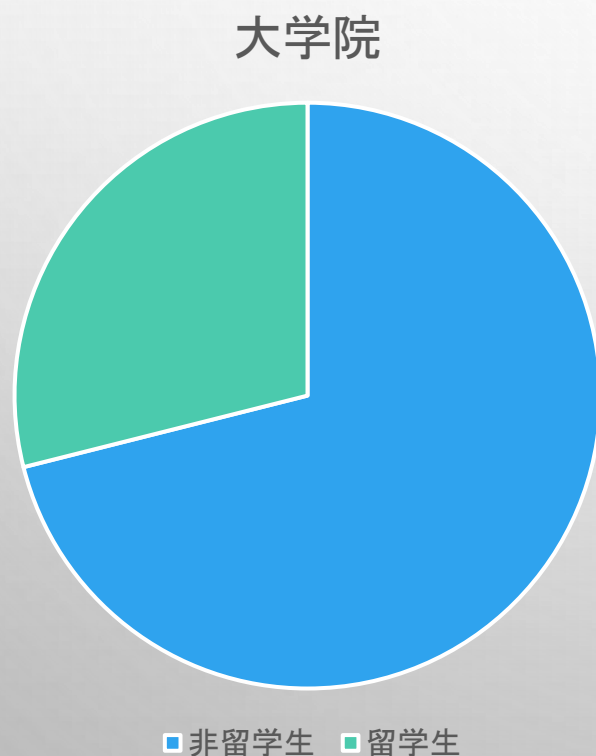
今日の話の流れ

- 東京大学の国際化の現状
- グローバル教育センターの事例
- 国際化とキャンパスのバイリンガル化
- 日本語と日本語教育について

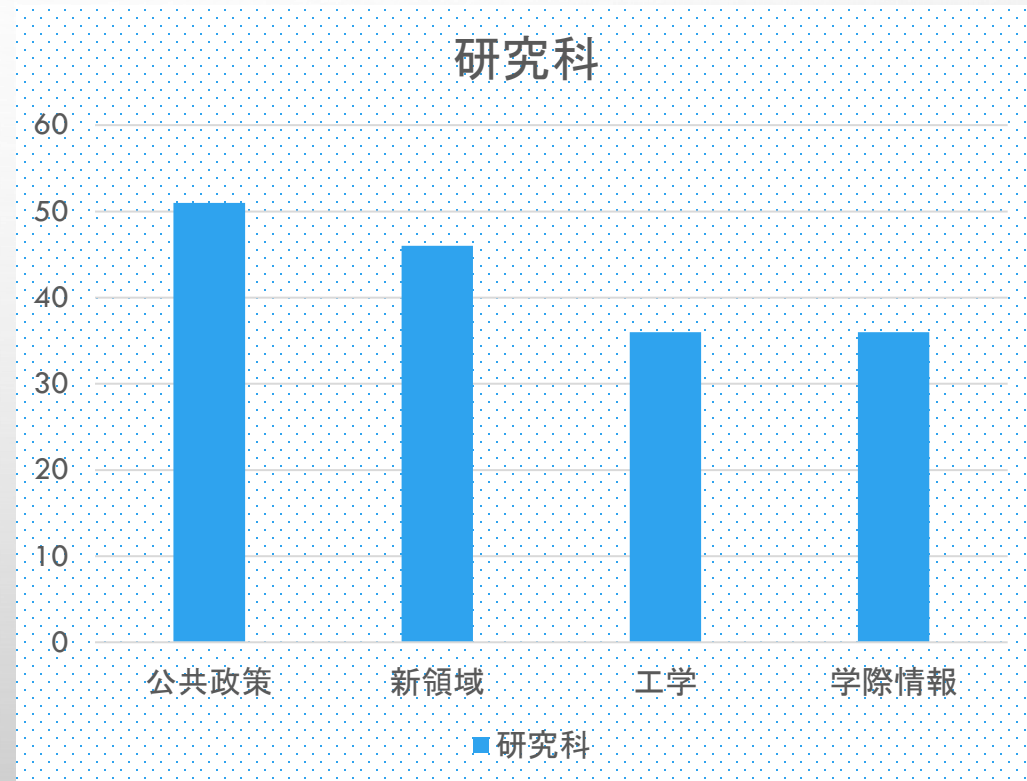
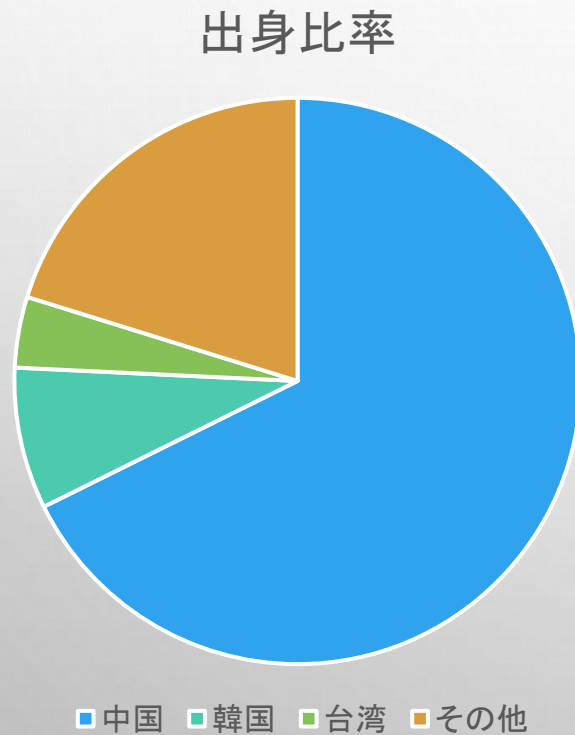


東京大学の国際化—留学生比率 (2022.5)

- 大学院 4246/14678人 (29%)
- 学部 303/14013人 (2%)



- 出身国 中国67% 韓国8% 台湾4%=約80%
- 研究科(院) 公共政策51% 新領域創生科学41% 工学36% 学際情報36%



現状

- 留学生のほとんどは大学院
- 出身地域が限定されている
- 学部の留学生(学位生)は非常に少ない(入試・教授言語の問題)
- 日本の高校出身の学部生が留学生と交わる機会は極めて限定的
- 日常的な国際交流が少ない

東京大学の国際化—英語プログラム等

- PROGRAM IN ENGLISH AT KOMABA (2012-) = GLOBAL 30
- GLOBAL SCIENCE. (FACULTY OF SCIENCE)
- GLOBAL SOCIETY (GRAD SCHOOL OF ARTS AND SCIENCES)
- ITASIA (GRAD. SCHOOL OF INTERDISCIPLINARY INFORMATION STUDIES)
- GRADUATE SCHOOL OF PUBLIC POLICY—DOUBLE DEGREES
- UNIVERSITY WIDE EXCHANGE PROGRAM (USTEP)
- GO GLOBAL GATEWAY (GGG)
- GLOBAL UNIT COURSES (GUC)
- 戦略的パートナーシップ



これからの国際化

- 大学全体のダイバーシティ・インクルージョンの一環として(出身地域の多様化)
- 学部の国際化・学部留学生増に向けて
- 国内生の国際意識の涵養＝キャンパス内外でのグローバルな活動
- 英語で学ぶ(現状は学部での英語による授業は圧倒的に少ない)
- 教員の国際化
- グローバルサウスとの交流



グローバル教育センター CENTER FOR GLOBAL EDUCATION (GLOBE)

- 事例1
- グローバル教養科目 / GLOBAL LIBERAL ARTS
- SDGsをテーマ
- 一学期30科目前後
- 少人数アクティブラーニング
- 全学部生・交換留学生・ウクライナ学生



グローバル教育センター

- 事例2
- ASIAN UNIVERSITY FOR WOMEN (AUW)との交流
- 貧困・紛争などにより学習環境が十分でない南アジアの優秀な女性学生
- 2023 夏(バングラデシュ、スリランカ、ネパール、パキスタン、ミャンマー、アフガニスタン)
- 「移民/難民」をテーマに東大生と共に学ぶ+ シンポジウム(ファーストリテイリング財団支援)
- 2024春 東大生が訪問
- ダイバーシティ、インクルージョン、平和、正義



東大とASIAN UNIVERSITY FOR WOMEN



“IMMIGRATION, MIGRATION, REFUGEES” & 日本語



シンポジウム



国際化のためのバイリンガル化

- さまざまな留学生を集めるために
- 英語による授業、事務業務
- 日英バイリンガルキャンパス、英語が「普通」の環境
- 「日本だから日本語で教育すれば良い」=もはや通用しない
- 「留学生の東大化/日本化」ではなく、東大/日本の国際化
- 日本語で学ばなくても学位の取れる大学
- GENERATIVE AIの活用



グローバルキャンパスにおける日本語・日本語教育

- 日本研究等以外の目的で来る学生の増加
- 授業は英語、英語主体のキャンパスライフ
- 日本語と日本語教育の意味＝何を、どこまで、いかに教えるべきか（スキル、レベル、単位・非単位、対面・オンライン、期間、渡日前・渡日後・・・）
- AIの普及
- 留学生の増加と限られたリソースのなかで日本語教育の形のあり方はいかに
- PEAK(学部)＝日本語ゼロ入学OK、その後の日本語は必須
- ITASIA(院)＝日本語ゼロ入学OK、その後の日本語は選択
- 交換留学生(USTEP生)・超短期生(AUW生)
- 卒業後のキャリアと日本社会の未来



